

一般社団法人 日本遊戯療法学会 第31回大会案内

メインテーマ「子どもの心の危機」

2026年9月5日(土)～6日(日)

会場 鳴門教育大学(対面形式)

※オンライン形式でのプログラムはございません

ご挨拶

このたび、日本遊戯療法学会第31回大会を鳴門教育大学で開催することとなりました。本学での開催は第10回大会以来で、22年ぶり二度目となります。

本大会のテーマは、「子どもの心の危機」です。「子どもは社会を映す鏡」という言葉のように、現代社会のありようは子どもの心に様々な影響を及ぼしています。情報・モノが次々生みだされて溢れ返り、それらがワンタッチで得られる現在、価値あるものを素早く、効率よく手に入れることが重視され、よくわからないものは敬遠され、時間のかかる過程は省かれる傾向にあります。「コスパ」「タイパ」の優先は、子どもを育む営みにも影を落としているように思います。私たち大人は子育てに関する大量の情報から子どもの「問題」に囚われ、その解決へと急ぎ立てられているようです。しかし、「危機」は、それを乗り越えることで成長できる可能性を秘めています。現代の子どもやそれを取り巻く社会が抱える「心の危機」に、「遊び」やそれを媒介とする遊戯療法がいかに貢献できるかについて、参加者とともに考えていきたいと思います。

大会の一日目は、学会シンポジウムと会員大会、事例発表を予定しています。二日目は、ワークショップ(教育講演)と公開基調講演、公開シンポジウムを予定しています。

鳴門教育大学は、徳島県鳴門市内の「高島(たかしま)」という島にあります。徳島阿波おどり空港から車で20分、高速バス「高速鳴門」バス停から車で10分、JR鳴門駅から車で10分ほどの距離です。とは言え、バスや鉄道の本数、タクシーの台数にも限られていますので、空港、バス停、JR鳴門駅と会場をつなぐ無料シャトルバスの利用もご検討ください。鳴門市は人口5万人規模の小さな町ですが、風光明媚な景観や渡船など、他では得られない経験も味わえます。こうした環境もまた、本大会のテーマについて考えるきっかけになるかもしれません。ぜひ鳴門へ「遊び」にお越しください。

日本遊戯療法学会第31回大会 準備委員長

川西 智也(鳴門教育大学)

♠ 大会日程 ♠

♠ 1日目 9月5日(土) 学会員のみ参加可

9:30	10:00～11:00	11:10～12:10	12:10～12:50	12:50～14:50	15:10～17:10	17:30～19:30
受付 開始	学会 シンポジウム	会員大会	昼食&休憩 指定討論者・司会者 打ち合わせ	事例発表1	事例発表2	懇親会

♠ 2日目 9月6日(日) 非会員も参加可・午後は一般の方も参加可

9:00	9:30～12:00	12:00～13:00	13:00～14:50	15:10～17:10
受付 開始	教育講演 (ワークショップ)	休憩 & 昼食	基調講演	公開 シンポジウム

◆ 大会内容 ◆

大会 1 日目 9 月 5 日 (土)

◆ 研究・学術委員会主催 学会シンポジウム「論文（症例研究）を書くことの意義」10:00～11:00

司会・指定討論者 波多江 洋介（白百合女子大学）

話題提供者 桜井 亮平（川崎市北部児童相談所）・高嶋 雄介（天理大学）

指定討論者 千原 雅代（天理大学）

研究論文を執筆する時間的なそして心理的な負担感は軽くありませんので、気軽に取り組むというわけにはなかなかいかないでしょう。しかし、研究論文が執筆され、学会誌の発行を通じて、その知見が会員間で共有されることは、学会活動中の最も重要なものの一つと考えられます。そこで、研究論文を書くことの意義について改めて振り返り、その意義について確認できる機会にしたいと思っています。

◆ 会員大会 11:10～12:10

◆ 事例発表 1 12:50～14:50

◆ 事例発表 2 15:10～17:10

事例発表は 1 発表あたり討論を含めて 120 分で行います。希望される方は以下の要領でお申し込みください。

①大会 HP (<https://narutoplaytherapy31.com/>) より 7 月 6 日 (月) までにお申し込みください。

②お申し込みの際は、フォームに従い、発表演題、発表要旨、希望の指定討論者、機器の使用希望をご記入ください。お申し込み後、大会ホームページより「抄録集原稿フォーマット」をダウンロードし、作成原稿を 7 月 17 日 (金) までに大会事務局までメール送付してください。

③演題発表の採否、指定討論者および司会者は、日本遊戯療法学会第 31 回大会事務局によって決定されます。指定討論者については希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

④発表に使用できる機器はノート PC からのプロジェクターによる映写のみです。事例発表申し込みの際に機器の使用希望を入力してください。ノート PC の貸し出しは致しませんので、発表者が各自お持ちください。

なお、事例発表の資格として、以下の要件を満たしていることが求められます。

- ・ 演者、連名演者は、日本遊戯療法学会の会員であること（現在非会員で、研究発表を希望される方は、6 月中に入会申込書を学会事務局に提出するようにお願いします）。
- ・ 演者、連名演者は、2025 年度までの年会費を完納していること。

◆ 懇親会 17:30～19:30

会場は、鳴門教育大学キャンパス内の学生食堂「渦の里」です。

徳島の名物料理を囲みながら、阿波踊りの演舞もお楽しみいただけます。

手作り感あふれるアットホームな懇親会ですので、ぜひお気軽にご参加ください。



大会 2 日目 9 月 6 日 (日)

◆ 教育講演（ワークショップ） 9:30～12:00

お申し込み方法や内容の詳細は別紙「教育講演（ワークショップ）の案内」をご覧ください。

A	安島 智子	（このはな児童学研究所）	遊戯療法の基礎
B	内海 新祐	（旭児童ホーム）	あらためてプレイセラピーの「効果」を考える—児童養護施設を中心に—
C	葛西 真記子	（鳴門教育大学）	多様な性を生きる子どもの理解と支援
D	金丸 隆太	（茨城大学）	はじめてのコラージュ療法
E	川部 哲也	（大阪公立大学）	アニメを通して思春期のころを考える（2）
F	國吉 知子	（Sophia next 心理教育研究所／神戸女学院大学名誉教授）	子どもの心の危機に寄りそうために：CARE（子どもと大人の絆を深めるプログラム）の基本スキルを体験的に学ぼう！
G	関口 佳那	（こどものうち八栄寮／アートセラピスト）	子どもの心の危機と遊びとアートセラピー

◆ 基調講演「困った子は困ってる子 ～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～」13:00～14:50

講演者 寮 美千子 (作家・詩人)

＜プロフィール＞1955年、東京生まれ。1986年、毎日童話新人賞を受賞してデビュー。2005年、泉鏡花文学賞を受賞。2006年、首都圏から奈良に移住。2007年～2016年、奈良少年刑務所で社会性涵養プログラム講師。幼年童話から絵本・純文学・ノンフィクションまで幅広く執筆。主な著書は「あふれてたのはやさしさだった 奈良少年刑務所 絵本と詩の教室」(西日本出版社)など、多数。

司会 樋口 亜瑞佐 (大阪公立大学)

◆ 公開シンポジウム「子どもの心の危機に遊戯療法はいかに貢献できるか」15:10～17:10

話題提供者 1 佐藤 葉子 (仙台セラピー・ド・ジュ研究会)「被災地における遊戯療法 -被災親子と歩んだ15年-

震災は人々の大切なものを一瞬で奪った。大人でも耐え難い苦しみを子どもは遊戯療法の中で象徴的に表し、喪失や不安などと向き合った。15年以上の支援で見てきた遊戯療法における「遊び」の意義や、親の被災体験が子どもに及ぼす影響、支援が届かなかった若者の“今”に触れ、遊戯療法の役割と長期支援の大切さを考えたい。

話題提供者 2 樋口 純一郎 (神戸市こども家庭センター)「児童福祉領域における遊戯療法の実際」

児童福祉領域における心理療法は、子ども自身に求動機がないこと、一時保護や施設入所で生活環境丸ごとの支援が必要なこと、被虐待児ヘインテンシブなケアが求められること等あり、“遊び”の寄与するところは大きい。児童相談所や児童自立支援施設(問題行動のある子どもの入所施設)での実践を中心に、話題提供を行う

話題提供者 3 小倉 正義 (鳴門教育大学)「学校での心理支援における「遊び」

学校では子どもたちの様々な「心の危機」への心理支援が行われており、そのなかで「遊び」は重要な役割を担っていると感じている。本話題提供では、学校での心理支援で「遊び」が治療的機能をもつためには、学校という「場」の構造をどのようにとらえ、どのように子どもたちとつながることが大切なのかについて議論したい。

司会 大塚 斉 (埼玉県立大学)

♣ 参加申し込み方法など ♣

♣ 参加資格

1 日目	学会シンポジウム・会員大会・事例発表 懇親会	学会員のみ参加可
2 日目	教育講演(ワークショップ) 基調講演・公開シンポジウム	学会員および非学会員(※)が参加可能 学会員および非学会員(※)、一般の方が参加可能

※日本遊戯療法学会員以外の守秘義務を有する専門職の方、または、臨床心理学を学ぶ大学院生

♣ 大会参加の申し込み

- ・ 大会ホームページにあるお申し込みリンクから Peatix にてお申し込み＆参加費の支払いを行ってください。
<https://narutoplaytherapy31.com/>
- ・ 予約参加の申し込み締め切りは 8 月 21 日(金)となります。8 月 22 日(土)以降にお申込みをされた方は当日参加と同じ料金になります。
- ・ 参加証は後日、メールでお送りします。学会当日に印刷してご持参ください。
- ・ 大会会場(鳴門教育大学)と、徳島阿波おどり空港・JR 鳴門駅・高速鳴門バス停を結ぶ無料シャトルバスのご利用を希望される方は、希望する便を Peatix にてご回答ください。回答は、シャトルバスの時間やルートを決める上での参考にさせていただきます。時間・ルートが決まり次第、あらためてご案内いたします。

♣ 参加費

※予約参加は 8 月 21 日（金）まで

予約参加※	会員	会員（大学院生）	非会員	非会員（大学院生）	一般
大会参加費	6,000 円	(5,000 円)	—	—	—
ワークショップ	4,000 円	(3,000 円)	5,000 円	(4,000 円)	—
基調講演	大会参加費に含む		2,000 円	(1,000 円)	1,000 円
公開シンポジウム					
懇親会	4,000 円	(3,000 円)	4,000 円	(3,000 円)	—

当日参加	会員	会員（大学院生）	非会員	非会員（大学院生）	一般
大会参加費	7,000 円	(6,000 円)	—	—	—
ワークショップ	5,000 円	(4,000 円)	6,000 円	(5,000 円)	—
基調講演	大会参加費に含む		3,000 円	(2,000 円)	2,000 円
公開シンポジウム					
懇親会	5,000 円	(4,000 円)	5,000 円	(4,000 円)	—

♥ その他 ♥

♥ 昼食について

会場内および会場近くに飲食店やコンビニエンスストアがございません。昼食はご準備いただくか、お弁当（Peatix にて予約 1,000 円／個）をご利用ください。お弁当を予約された方には参加証と合わせてお弁当引き換え券をメールでお送りしますので、学会当日に印刷してご持参ください。お弁当の当日販売はございませんので、ご注意ください。

♥ 臨床心理士の研修ポイント

日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイントについては、以下のとおり付与されるよう申請予定です。

- ・ 学会員：大会参加 = 2 ポイント / 大会参加+事例発表の発表者 = 4 ポイント
- ・ 非学会員：ワークショップ受講+基調講演・公開シンポジウム参加 = 2 ポイント

♥ 年会費納入のお願い

未納の方は年会費納入をお願いします。年会費の納入は以下の口座をお願いいたします。

ゆうちょ銀行 口座名称：一般社団法人 日本遊戯療法学会 シヤ)ニホンユウギリョウホウガツカイ
 ゆうちょ銀行から振り込む場合 記号番号：00120-9-731434
 他行から振り込む場合 店名：〇一九（ゼロイチキュー）店 当座 口座番号：0731434

♥ 今後の通信予定

大会参加に関する連絡はホームページおよびメールにて行います。

■ お問い合わせ・連絡先 ■

- 日本遊戯療法学会 第 31 回大会 事務局 Email: narutoplaytherapy31@gmail.com
- 大会長 村松 健司（放送大学）
 実行委員長 塩谷 隼平（東洋学園大学）
 準備委員長 川西 智也（鳴門教育大学）
 準備・実行委員 殿谷 仁志（こころの相談センターのぞみ）／樋口 亜瑞佐（大阪公立大学）
 ／大塚 斉（埼玉県立大学）／関口 佳那（こどものうち八栄寮）
 事務局 戸口 太功耶（鳴門教育大学）／高尾 直子（鳴門教育大学）
- 大会ホームページ <https://narutoplaytherapy31.com/> またはこちらの QR からご覧ください
 ■ 大会に関するお問い合わせはメールでお願いいたします。

